

奈良・人と自然の会

〈わたしたちは大和の自然を愛します〉



奈良の万葉歌碑めぐり ③

有本 倍美

「大君は神にしいませば天雲の雷の上に廬りせるかも」 柿本人麻呂 巻 3—235

「大君は神にしいませば赤駒の腹這ふ田井を都と成しつ」 大伴 御行 巻 19—4260

甘樫丘の北側にこじんまりした雷丘があり天の香久山への道路を少し行くと犬養孝の揮毫による万葉仮名の原文で「皇者神尔之座者赤駒之腹婆布田為乎京師跡奈之都」の句碑がある。「大君は神であらせられるので赤駒が腹這いになる田んぼを都とされた」。引き返して東側の鳥形山に鎮座する飛鳥坐神社の石段を上ったところに矢張り犬養孝の揮毫で「皇者神二四座者天雲之雷之上尔廬為流鴨」の句碑があり「大君は神であらせられるので天雲を支配する雷丘に仮の庵を建てて宮とされた」の大意である。その他、「大君は神にしいませば」のフレーズで始まる歌は万葉集に次の 3 句を含めて 5 例ある。

「大君は神にしいませば天雲の五百重の下に隠りたまひぬ」 巻 2—205

「大君は神にしいませば真木の立つ荒山中に海をなすかも」 巻 3—241

「大君は神にしいませば水鳥のすだく水沼を都と成しつ」 巻 19—4261

大君は誰か。壬申の乱を成功させた天武天皇か、皇后であった持統天皇か、孫の即ち草壁皇子の子文武天皇かの議論となるがそんなことはどうでもよい。壬申の乱は文字通り現政権を武力で倒した「乱」でありクーデターである。非合法的な政権移譲を正当化させるためには絶対権力が必要なのである。天武天皇は大臣を置かず皇族だけで国政を担当させ、豪族の経済力を奪い官僚化して給与所得に変え、位階制で報いた。思想、文化、宗教をも国家統制し、いわゆる絶対専制君主制度の確立を目指した。「大王」を「天皇」の称号に定着させたのも、軍事力の重要性を知り尽くしていたのも天武天皇である。天平 13 年の詔で「凡そ政の要は軍の事なり」がある。明治維新は多分に天武政治を手本にしている。現人神の思想は明治憲法下の日本人のアイデンティティを利用した天皇陛下万歳に象徴される陶酔的な政治手法である。壬申の乱の発端は皇位継承問題である。現在も女帝を含め継承問題が潜在している。北方四島、尖閣諸島、竹島などの領土問題、北朝鮮の核保有とミサイル発射問題、日米安保と基地問題などから「管められない日本」としてどうあるべきか、平和ボケの日本国民(臣民でない)の目前に迫っている外交問題は先送りや他人任せに出来ない。

ならやまプロジェクト・レポート 21年8月



(古川 祐司 記)

7月25日(土) 曇り一時雨 公開イベント 里山の昆虫観察と自然工作 参加者 69名

- ・ 生憎の曇り空だったが、14家族44人がならやまのフィールドに参集。菊川さんの指導で、手に手に網を持った子供たちが、畑や里山の虫たちを求めて出発。クヌギの幹にカブトムシを見つけてから興奮は一気に高まり、2時間の観察時間はあっという間に過ぎました。午後は自然工作の「フクロウ」作り。初めてノコギリを使う子供も多く、指導員の手ほどきで用心深く工作していました。本日のお土産はモチロンならやまプロジェクトで育てたカブトムシ。1家族に1つがいを手渡され、大喜びでした。

午後3時解散

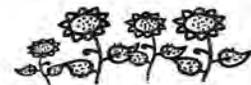
7月31日(金) 晴 ナスクラブ 臨時活動 参加者11名

- ・ 6月から7月まで、十分味を堪能させてくれたナスは、8月中は休養期間です。今日は、ナスクラブ全員が出動して、枝の更新剪定、肥料やり、虫駆除、竹酢液の散布を行い、根の充実と新枝の育成を促す作業を実施しました。9月には、さぞかし旨い秋ナスが期待できることでしょう。 12時終了。

8月6日(木) 曇り 環境整備クリーンアップ (b地区草刈り C地区枯木除去) 参加者 25名

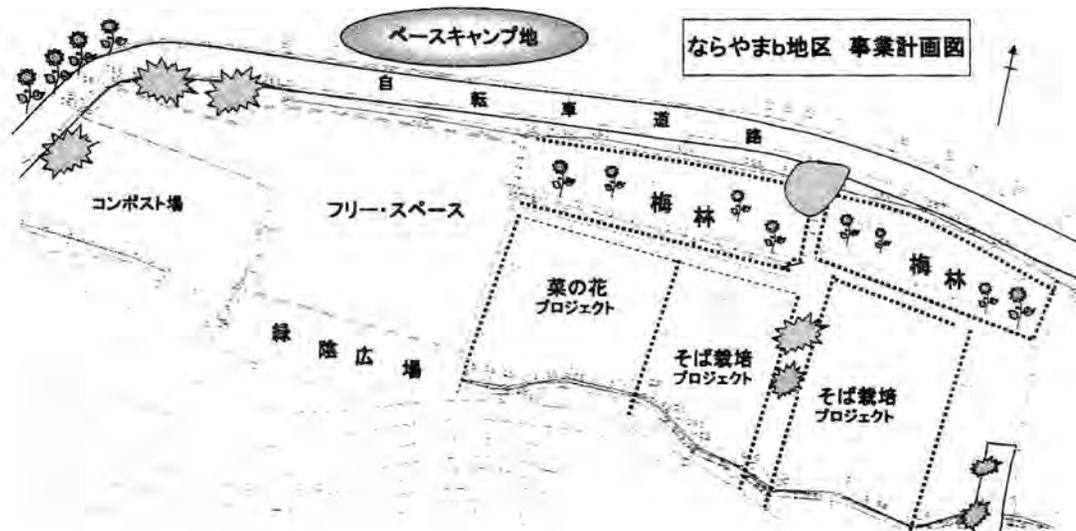
- ・ 環境クリーンアップは、全員による笹藪跡地の草刈り。7台の刈払い機を動員して一斉に夏草を刈払い、残る人は刈草集めを受持つ。一致協力した数の力はまことに素晴らしいもので、2時間の作業で3000平米の田圃跡地の夏草は見事に片付きました。折からの満開のヒマワリが一段と美しく映えて、素晴らしい景観に皆それぞれに充実感を味わっていました。
- ・ この場所は、今後ヒマワリのほかに、蕎麦、菜の花、レンゲなどを植えて、四季折々の景観づくりを計画的に行っていきます。会員の皆様の知恵と力のご支援をお願いいたします。 午後2時解散

8月10日(月) 雨 「野鳥観察の日」 参加者5名



8月18日(火) 晴 b地区の畝作り(臨時活動) 有志6名

- ・ 6日に全員で草刈りしたb地区の田圃跡地の畝作り。今日は、鈴木さんのトラクターが主役で、約3時間の作業で蕎麦畑用地、菜の花プロジェクト用地の畝作りが完了し準備が整いました。 12時終了



ならやま里山林自然観察レポート

ならやま里山林花だより

守口 京子

8月13日(木) 暑さの中で色とりどりの花が咲き、木の実がなっています。

花壇…ヒヤクニチソウ、シモツケ、ヒマワリ、フジウツギ、オミナエシ、ハギ、ミズヒキ、サンジソウ、ムラサキシキブ

野山…ヤブガラシ、ヨウシュヤマゴボウ、オオマツヨイグサ、ヒメジョオン、ヤブミョウガ、タカサブロウ、ツユクサ、ヌルデ

木の実…コナラ、クヌギ、シャシャンボ、ネジキ、ヤマウルシ、ハゼ、ソヨゴ、クリ、イソノキ、カマツカ、ヤブコウジ

また山の中は赤、黄、白、茶などキノコの天国です。

右の絵はヌルデの葉についた虫こぶで、黄緑色で生姜を小さくしたような形です。五倍子と呼ばれタンニンを含み薬用、染料として利用されるそうです。



ならやまの8月の鳥

小田 久美子

8月10日、雨の中、5人で廻りました。雨も関係ない筈のツバメも出なくて不作でしたが、遠くでかすかにヒクイナの鳴き声が聞こえました。

ならやまの昆虫だより

シュレーゲルアオガエル

菊川年明

8月6日のならやま作業日、草刈り作業中にシュレーゲルアオガエルが数匹現れました。岩田さんが発見され、そのときはモリアオガエルかなということでしたが、その後よく調べてみますとシュレーゲルアオガエルだということがわかりました。

このカエルは4月から6月にかけて、ならやまA地区裾のガマの生えている湿地や水田で鳴き声が聞かれましたが、畦などの土中に潜んでいるので姿はわかりませんでした。

シュレーゲルアオガエルという名前は外国から来た生き物のような印象を受けますが、れっきとした国産種で、シーボルトが標本をオランダへ持ち帰り、生物学者のシュレーゲルが学名を付けたことから和名もシュレーゲル氏のアオガエルという意味でシュレーゲルアオガエルという名前になったということです。



奈良県は夏休み期間を「山と森林の月間」に定め、自然関連のイベントを各種の施設、団体に依頼し、その一覧表は県下の小学生を中心に10万部を配布、募集した。

当会は7月25日なら山里山林に於いてく市街地にある里山探検！>

いろいろな昆虫や生物を見つけよう！自然素材の工作を楽しもう！

をテーマに40名（小学生と保護者）を募集した。

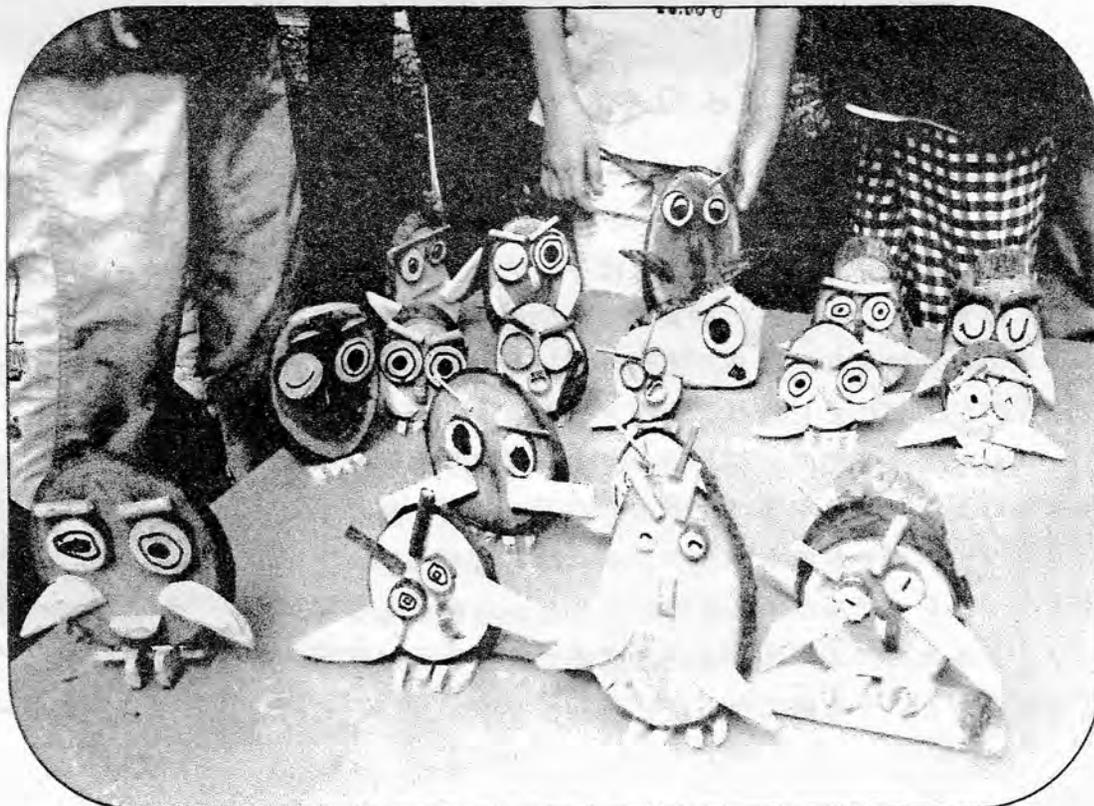
60名の応募の中から抽選し14家族44名の参加で催された。

当日は雨の予報で有ったが開始1時間前から来場の子供もおり、又KCNケーブルTVの取材もあり放映された。

午前中は蒸し暑い中、3班（幼稚園、小学低学年、高学年）にわかれ里山に入り昆虫観察や採集をしたが、カブトムシやクワガタを見つけた子供達もいて、おお騒ぎの場面も見られた。園児は別にして、もっと時間が欲しかった様子であった。次回の参考にしよう。昼食には西谷さんの冷やしそうめん全員が感激。

昼からは、桜の木の輪切りでフクロウ工作とタケ水鉄砲を作り、最後の頃には雨も降り始めたが、親達は濡れても子供達を、しからないので水鉄砲で大興奮して盛り上がり、帰りには、なら山プロジェクトで育てたカブトムシ1匹づつをおみやげに、事故も無く無事に終了した。

暑い最中、協力いただいた菊川さん鈴木さん他、多くの関係スタッフの方々に感謝します。



わくわく自然体験会 子供の作品「フクロウ」

阿部和生 提供

なら森を育てる県民の集いが7月20日(祝)『奈良県山の日・川の日』に大和郡山市の矢田山遊びの森で例年通り開催され、当会も協力参加した。主催は奈良県・県緑化推進協会で緑化や環境に関心の高い14グループが参加。当日は雨の予報の中、10時より式典の後、我々は水鉄砲、ウド鉄砲を子供達に体験させた。昨年の反省から各作業工程ごとに子供達を移動させ流れ作業で指導した為、効率は良かったが、余りの人気の為、終始、行列ができてスタッフは全員汗だくで対応した。その結果午後1時前には用意した材料が全て無くなり雨も降らず、嬉しい悲鳴で終了した。

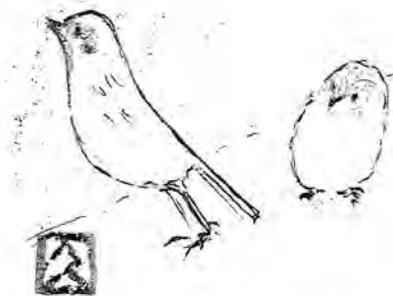
参加スタッフ： 本郷、弓場、古川、岩田、森、塩本、井戸、木村、阿部、(順不同)



たんぼのいたずらっ子 **スズメ**

小田 久美子

スズメが、人間の、特に日本人主食のお米を大いばりで食べることにについては、「スズメの孝行」という昔話があります。スズメとキツツキはきょうだい(姉と妹)でした。里の母親が危篤だという知らせが来た時、丁度お歯黒を塗りかけていた所にその知らせが届いたスズメは慌てて塗り損ねほおにくっ付けてしまいました。それでも構わず地味な普段着のまま飛んで行ったお蔭で、母を喜ばせることが出来ました。スズメのほお



にある黒い点はその時ついたのでそうです。一方、キツツキは色々な着物を出して、「どれにしようか」と迷ったりおめかしに時間をかけていました。そのため、里に着いた時母はもう亡くなっていました。スズメはこの親孝行のお蔭で神様から一生の間お米を食べることを許されました。キツツキの方は、一日中硬い木の幹をつついて、その中の虫を食べなければならぬことに成りました。そして、毎晩木のうろに入って「嘴がいたいよ」と云って泣くというのです。地方によってキツツキがツバメになったりカワセミやカモメになったりしますが、共通するのは虫や魚を食べお米を食べないということです。古い俳句に

いくらくう ものかすておけ 稲すずめ 農家の方には面白くない俳句でしょうね。昨秋、田んぼの縁で背伸びをしたりジャンプして稲穂をつついてるスズメを見ました。最近の品種は「実っても頭を下げない稲穂も人も」拙作、字あまり。背丈が低いので、コンクリート際はスズメ脱穀機が見事に刈り取っていました。

居場所を求めて

奈良に移り住んで10年になります。2年前まで、職場と住まいを往復する毎日で、奈良は眠りに帰る場所に過ぎませんでした。買い物に行っても知人に会うことが無く、気楽な反面淋しさもあり、奈良は仮の住まいのように感じてしまうのです。「奈良が好き」と思えない私が、奈良を自分の町として好きになるためには、奈良を知り、奈良に居場所を作ることだと思いました。

シニア自然大学本科の教育実習案内でこの「奈良・人と自然の会」を知り参加しました。その時、この会にいろんな活動の広がりを感じ、ここに私の居場所を求めてみたいと思い、迷わず入会を決めました。まだ、活動には3回しか参加していませんが、例会や活動日・学校校庭観察会・イベントにも可能な限り参加しながら、ここで自分の出来ることを探してみたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



はじめまして！よろしく願いします。

和田 美紀子

入会のきっかけは、平井さんでした。奈良県農林部林政課が行っている「奈良県森林環境教育指導員養成講座」を昨年受講し、その時に平井さんとご一緒させていただきました。

受講者の中には既にそれぞれのフィールドで活動されている方も多くおられ、その中でも平井さんが活動されている“奈良・人と自然の会”のフィールドが私の実家の近くとのことで、すぐに見学させてほしい！と飛びつきました。そして会の目指されている方向が私ととても似ていると知り、気の合う受講者同士で手を取り合っともに入会を決めました。

生まれ育った奈良県で環境活動ができれば、との思いで受講した講座をきっかけとして、素敵な人たちとの縁を結ぶことができました。

幼子2人を育てている身のため思うように参加できていませんが、末長くご指導をよろしく願い申し上げます。皆様にいろいろと教えていただきながら、次のステップへと歩んでいきます！そして、奈良県の、日本の自然環境を護って支えていきます！

ペン画花歳時記

境 寛

庭の雑草取りを手伝って、家内が大事に手入れをしていた野草の新芽を抜いて以来、草花の手入れは家内にまかせればなしで、咲いた花を楽しむ側になりました。2年ほど前からペン画を始めましたので、気が向いたとき、ペン画で草花の記録を残してきました。

ホトトギス

学名 *Tricyrtis hirta*

Tricyrtis : ホトトギス属

ギリシャ語の「treis (三)

+ *kyrtos* (曲)」が語源。

三枚の「外花被」というと

ころの基部が 曲がっている

ことから。

hirta : 短い剛毛のある

開花時期は、8月下旬～11

月中旬、日陰に多く生える。

若葉や花にある斑点模様が、

鳥のホトトギスの胸にある模

様と似ていることからこの名に。

9月12日の誕生花

花言葉は「秘めた意志」



ホトトギス
種子植物
多年草 ユリ科
Tricyrtis hirta

自然俳句欄

向日葵やゴッホのかほの並びるる 秀夫

里山ロードに旬の花が咲き誇る。

ゴッホの名画も負ヶソーだ。

天道虫偽そひらのしるべは背の斑 秀夫

テントウムシダマシ襲来。防除に大童。

秋茄子の実りに夢を追う。

地域情報

★友達に誘われてアオバズクの雛を見に京都御所と寝屋川に行ってきました。暑くて出掛けるのは控えていましたが、雛に一度もあつたことがなかったので見ることができる時と思って…。京都の方は巢立ちをしていてクヌギの高い枝に親子3羽が…。何日かして寝屋川にいった時は巢穴から顔をのぞかして、真ん丸い目がとっても可愛かった！

・ツクツクボウシが8月8日に鳴き初め。去年は14日。ヒグラシも去年より早い。これも温暖化かな？

このところ散歩の途中でセミの死骸をよくみる。日毎に数が増えて今日は4匹。その度に拾い上げて木陰の土の上にそっと置き「ナムアマダブツ」7年後生きていたらこのセミたちの子供の鳴く賑やかな声を聴くことになるな—など考える。
(斎藤)

★今なんといっても平城宮跡のツバメの隣入りですね。今年も3回は観に行きます。何回見ても感激です。でも何羽集まってるか解りません。2万から5万羽とか言った者勝ちです。8日に撮った夕焼けバックの写真があるのですが、ツバメは蚊が飛んでいるくらいにしか写りませんので広報には無理ですね。(西谷)

★8月2日竜田川でのことです。1羽のカワウが河原にいました。そこに

ハシボソカラスが近づいてきました。カワウにちょっかいを出しはじめました。その時カワウが羽を広げました。カラスよりずっと大きくなりました。カラスはあきらめて飛んで行きました。しつこいカラスに大きくなって抵抗していました。面白い光景でした。



・17日まで竜田川に姿を見せていたゴイサギ・ホシゴイ（ゴイサギの子）がぱったり姿を見せなくなりました。
(勝田)



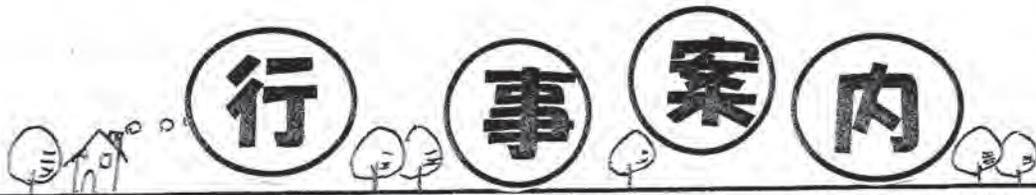
(コサギ・ダイサギ)

〈癒しの散歩道〉

今年の夏に「さよなら」の言葉はいらない

谷川 萬太郎

「さよなら」と書きたった四文字の言葉だけど 決して言わないでくれ夏が寂しさに変わるから
楽しかったあの頃に戻れるなら何もいらない 茜色に染まる溢れる幸せを君にあげたいから
走り抜けたら追いかけてなくなる夏 心に蘇る思い出の小さな貝殻をそっと私にくれた夏
忘却に戸惑い乾く涙が潮騒に慰め貰う夏 先を急いだ春の陽炎の後ろ髪が恋しい夏
海も山もきっと嬉し涙を流す夏 眩しく照らす陽ざしに別れを惜しむ虹色の夏
季節を運ぶ流れる雲に背を向けても 名残を乗せた小さな秋風に空しく消えるだけ
思い出詰まった心の玉手箱を手みやげに 懐かしい季節の隠れ里に帰るのだろうか



原則：前日午後7時前のNHK天気予報で降水確率（午前）60%以上の場合は中止

『ならやま里山林プロジェクト9・10月の予定』

このプロジェクトは三井物産環境基金の助成を受けています

場所 奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林（JR平城山駅下車徒歩10分）

—「ならやま会館」前の道路（ならやま大通り）の南側に広がる林地—

（案内図が入用の方は、問合せ先までご連絡下さい）

日時

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 9月3日（木） | 一般活動日 |
| 9月14日（月） | ならやま野鳥観察の日（小雨実施） |
| 9月19日（土） | 会員いもほり大会（教育実習生受入れ）（パンフレットご参照） |
| 9月24日（木） | ならやま山の日（里山整備） |
| 9月27日（日） | 菜の花プロジェクト 種まき |
| 9月30日（水） | 雨天予備日 |
| 10月8日（木） | 一般活動日 |
| 10月12日（月） | ならやま野鳥観察の日（小雨実施） |
| 10月17日（土） | 公開イベント「里山の秋といもほり大会」（教育実習生受入れ） |
| 10月25日（日） | いもほり会（黒髪山自然塾協働イベント） |
| 10月29日（木） | ならやま山の日（里山整備） |
| 10月31日（土） | 雨天予備日 |

集合 現地ベースキャンプ地 9時 終了予定 3時

交通 ①近鉄奈良駅 バス13乗場8：23発 高の原行（平日・土曜）

②近鉄高の原駅 バス1番乗場8：32発 JR奈良行（平日）

8：30発 JR奈良行（土曜）

①②とも佐保台西口、または平城大橋で下車 徒歩約7分

携行品など

・弁当、飲み物、軍手（作業用具は現地にて用意） 服装は、防暑・防虫にもご留意ください。

*環境保護のため、コップ・箸・椀は各自でご用意下さい。

活動内容

・里山林整備、環境整備、植生調査、放置田跡の笹刈、花木植栽等の景観形成

復元田畑の農事作業、除草、有機栽培のための堆肥作り、土作り

*自由活動日について

火曜日、金曜日を「ならやま自由活動日」とします。活動される方は担当幹事までご連絡下さい。

*担当幹事： 古川 小嶺 岩田

***ならやま野鳥観察**

～野鳥の会奈良支部・川瀬支部長のご指導による～

☆日程：9月14日（月）〈毎月第2月曜日〉

★出発時間・場所：9時・ならやま駐車場 *時間にご注意ください。

☆小雨決行。判断の難しい時は担当者に問い合わせください。中止の時は次週に順延。

★担当者：小田

・菊川



(暑さの中、元気よく咲いた ならやまのヒマワリ)

守口京子提供

イベント予告 「環境フェア」

(みんなでとめよう温暖化)

日時：9月22日（火・祝） 10時～15時

場所：奈良百年会館 JR奈良駅前

例年、橿原市、大和高田市等で開催されていましたが、
本年は平城遷都1300年に関連し奈良市で催されます。

環境関連で52の企業団体が参加する

奈良県では最大の環境フェアです。

当会もタケ細工等で参加しますので、スタッフを募集します。

9月10日迄にお気軽にお電話ください。

スタッフ

募集中

小嶺

<9月例会> 「赤埴の巨樹と佛隆寺」

—彼岸花の参道が美しい佛隆寺と巨樹を訪ねる—

奈良県下最古の樹齢 900 年といわれるヤマザクラとエドヒガンの雑種モチズキザクラ(県指定天然記念物)と大和三路段のひとつとなっている 197 段の石段の両側に咲き乱れる彼岸花の美しい、大和茶発祥の地 佛隆寺(嘉祥3年(850)に創建)と、茅葺屋根の残る赤埴(アカバナ)地区の巨樹(イチヨウ、カエデ、イチイガシ、ケヤキ)と高井の神木・千本杉(県指定天然記念物)、そして、伊勢街道筋に残る大和棟の旅籠跡の古民家を訪ねます。

日 時: 9月26日(土)

集 合: 近鉄榛原駅 南口 バス停留所 10時10分 [10:15発バスに乗車]

・大和西大寺9:23・・・大和八木9:44着(乗換)

・橿原神宮前9:34・・・大和八木9:39着(乗換)

・上本町9:15(急・宇治山田行)・・・鶴橋9:17・・・大和八木9:52・・・榛原 10:06着

コース: 歩行時間 約3時間 (ハイキングコースです)

近鉄榛原駅(バス)「高井」・・・(室生古道)・・・「佛隆寺」(拝観・300円・自由)(イチヨウ)・・・

白岩神社(昼食)(カエデ)・・・藤村氏宅裏(ケヤキ)・・・小松林氏宅(イチイガシ)・・・千体佛・・・

古民家・津越家・・・千本杉(カンカン石)・・・旧旅籠・松本家・・・宮田家・・・「高井」バス停

14:39発のバスに乗車。

持ち物: 弁当、飲物、観察用具、雨具

※1 雨天中止のときの予備日は9月29日(火)に開催します。

※2 当日の天候判断に迷う時は、担当幹事に電話で問い合わせてください。

担 当: 古川 祐司

、岩田 利秋

<10月の予定>



「校庭の自然観察会」スタッフ募集

このたび、「校庭の自然観察会」を学校からの依頼によりつぎのとおり開催します。

5年生97名の授業として取り組みますので、シニア自然大学インタープリテーション科との共催とします。

そこで、「自然観察を児童とともに楽しむ」という気持ちでご参加いただける方をお待ちしています。

*準備のため申込締切日を9月10日(木)とします。ご協力お願いします。

○日 時: 10月 5日(月) 9時~13時、(3~4時限に観察、雨天でも開催)

○下 見: 9月14日(月)10時~12時、(補充日)9月17日(木)10時~12時

○場 所: 奈良市立佐保川小学校(奈良市法蓮町 229-1)、ただし近鉄奈良線・新大宮駅下車

○担 当: 倉田 晃

岩田 利秋

10月例会「生駒から南生駒の里」

—生駒市の自然と文化を訪ねる—

[日時] 10月10日(土) * [予備日] 10月24日(土)

[担当] 川井 ・ 弓場

* 詳細は会報第93号(10月号)でお知らせします。

平成21年8月度幹事会議事録

日時：8月4日(火) 18:00～20:00

場所：奈良市中部公民館

出席：18名全員

司会：古川 書記：守口

【報告事項】

①会員数：121名

②ならやま里山林プロジェクト：7月中 184名の参加(前年比68名増)

③山と森林の月間イベント

・「なら森を育てる県民の集い」(7/20) は約180名の参加で盛会。

・「夏休み自然体験会1里山の昆虫観察と自然工作」(7/25)：14家族44名 好評。

・「夏休み自然体験会2」(8/2)は雨天中止(8/23 再実施する)

④校庭自然観察会

・佐保台小 9/16(樹木)と 10/21(昆虫)で実施の予定

・佐保川小 岩田幹事を責任者として、実施する方向で取組む。

⑤その他の報告事項

・奈良県森林ボランティア技術者講習会(9/5)の参加者募集

【確認事項】 9～12月定例行事確認

・例会：9/26(佛隆寺)、10/10(南生駒)、11/27(奥明日香)、12/7(滝坂の道と忘年会)

・ならやまプロジェクト：9/19 会員対象の芋掘り大会、

・9/22 環境フェアに参加スタッフ募集中

編集後記：*朝夕はめっきり秋らしさを感じるようになってきました。季節の変わり目、お体に気をつけて下さい。*会報に掲載中の「ならやま里山林花だより」の担当が林令子さんから守口京子さんに代わります。林さん1年間ご苦労様でした。また今月号から境寛さんによる「ペン画花歳時記」が始まります。ご期待下さい。会員の皆様からの投稿をお待ちしています。

編集担当：勝田 均

TEL&FAX

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 阿部 和生

